

平成27年度事業報告

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

I. 平成 27 年度総括

平成 27 年度は、平成 26 年 4 月に実施された消費税率引上げの影響による消費手控えムードが長引き、総務省の家計調査によると、2 人以上の世帯の実質消費支出は前年比 2.3%減と、2 年連続で前年を下回り、個人消費に停滞感が見られた。さらに、28 年年初から円高・株安が続く中、日銀がマイナス金利を導入するなど不安定な金融市場の動向から、景気の先行き不透明感は払拭されない状況となっている。一方、訪日外国人旅行者は過去最高であった前年をさらに上回り、インバウンド需要を取り込んだ企業や観光地では、売上、集客ともに好調となった。

SC業界に目を向けると、前年の 55 を超える 60 のSCが新たにオープンし、日本全国のSC総数は 3,195 となった。なかでも地方行政と連動した地域密着型や、アクティビティなどを実際に体験できる体験型、エンターテインメント施設を設けた時間消費型など、特徴的なSCが開業し、マスコミをにぎわせ注目を集めた。売上については、個人消費が低調であったものの、訪日外国人増加などがあったため、既存SC売上高前年比は±0.0%と前年並みとなり、新規開業店を含めた全SCベースでの年間総売上高(推計)は、31 兆 779 億円で前年比+4.5%と堅調に推移した。

さて、当協会は平成 27 年度、SC業界が抱えている様々な課題の中から、特に少子高齢化、生産年齢人口減を背景として様々な業界に拡大している人材不足の問題への取り組みを基本方針の一つに掲げ、販売員の人材確保に関する実態調査の分析結果をもとに、様々な課題の解決の方向性について検討してきた。併せて、SCで働く販売員のモチベーションアップを目的とした資格制度「SC接客マイスター」をスタートした。

継続している東北復興支援については、前年に引き続き、SCビジネスフェアでの「復興応援コーナー」を設置し、宮城、岩手、福島の産品販路拡大に協力した。また、グローバリゼーションの進展が進む中、訪日客対応の一環として平成 27 年 4 月 1 日に改正施行された委託型免税制度(免税手続代行カウンター)に関する説明会を実施し、普及促進を図った。

(※数字は 2015 年 1 月～12 月の統計データ)

Ⅱ. 総会、理事会、企画会議

(1) 定期総会 <5月22日>

- ① 平成26年度事業報告について
- ② 平成26年度決算報告について
- ③ 平成27年度事業計画について
- ④ 平成27年度収支予算について
- ⑤ SC接客マイスター検定制度の実施について
- ⑥ 第6回日本SC大賞、第4回地域貢献大賞の選考結果について
- ⑦ 第21期理事・監事の選任について
- ⑧ その他
 - ・2020年以降の地球温暖化対策の取り組みについて
 - ・SCの立地区分の変更案について

(2) 第1回理事会 <4月28日>

- ① 入会、退会について
- ② 平成26年度事業報告について
- ③ 平成26年度決算報告について
- ④ 平成27年度事業計画について
- ⑤ 平成27年度収支予算について
- ⑥ 企画会議のあり方について
- ⑦ 決裁規程の改定について
- ⑧ SC接客マイスター検定制度の実施について
- ⑨ 第21期理事・監事の選任(案)について
- ⑩ 第43回定期総会の開催について
- ⑪ その他
 - ・第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞の選考結果について
 - ・2020年以降の地球温暖化対策の取り組みについて
 - ・SCの立地区分の変更案について

(3) 第2回理事会 <5月22日>

- ① 会長、副会長、専務理事の選任について
- ② 事務局長の任免について
- ③ 相談役、顧問の推薦について
- ④ 専門委員会委員の任命、支部長の委嘱について
「企画会議」委員の委嘱について

(4) 第3回理事会 <10月27日>

- ① 入会、退会について
- ② 平成27年度上半期事業報告について
- ③ 平成27年度上半期収支報告について
- ④ 2016中期経営計画について
- ⑤ 事務局規程の改定について
- ⑥ SC経営士委員会とSC経営士会の役割について

- ⑦ 第 44 回定期総会の開催について
- ⑧ 第 41 回日本SC全国大会の開催について
- ⑨ その他
 - ・平成 28 年度税制改正要望について

(5) 第 1 回企画会議 <10 月 15 日>

- ① 入会、退会について
- ② 平成 27 年度上半期事業報告について
- ③ 平成 27 年度上半期収支報告について
- ④ 2016 中期経営計画について
- ⑤ 事務局規程の改定について
- ⑥ SC経営士委員会とSC経営士会の役割について
- ⑦ 第 44 回定期総会の開催について
- ⑧ 第 41 回日本SC全国大会の開催について
- ⑨ その他
 - ・平成 28 年度税制改正要望について

(6) 第 2 回企画会議 <3 月 24 日>

- ① 入会、退会について
- ② 事務局組織の再編について
- ③ 事務局規程の改定について
- ④ 人材確保対策について
- ⑤ 第 7 回日本SC大賞、第 5 回地域貢献大賞について
- ⑥ 平成 27 年度事業活動総括、平成 28 年度事業計画(案)について
- ⑦ 平成 27 年度収支見込み、平成 28 年度収支予算(案)について
- ⑧ 第 44 回定期総会の開催について
- ⑨ 2016 中期経営計画(案)について
- ⑩ その他

Ⅲ. 支部活動報告

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

支部名	活 動 報 告
北海道支部	<p>(1) 第 1 回運営委員会(8 月 5 日・4 丁目プラザ)</p> <p>(2) トイレ環境レベルアップ講演会(7 月 30 日・JRタワーオフィスプラザさっぽろ) 「災害時のトイレ事情」 講師: 加藤 篤 氏 (NPO 法人日本トイレ研究所 代表) 参加者 12 名</p> <p>(3) 北海道万引防止ウィーブネットワーク定期総会出席(7 月 8 日)</p> <p>(4) SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会 (11月6日・JRタワープラニスホール) 出場者44名</p> <p>(5) 支部総会(3月4日・札幌グランドホテル) 参加者16名</p>
東北支部	<p>(1) 運営委員会 第 1 回(6 月 26 日・伊達の牛たん本舗本店) 第 2 回(10 月 6 日・ホテルメトロポリタン仙台) 第 3 回(2 月 18 日・ホテルメトロポリタン仙台)</p> <p>(2) ロープレ事前研修会(9 月 3 日・ホテルメトロポリタン仙台) 「お客様の印象に残る接客をしよう！」 講師:(株)バーンズ 藤井 美香子氏 参加者 130 名</p> <p>(3) 秋の研修会(東北支部・SC経営士会東北ブロック共催)&懇親ゴルフコンペ (10 月 6 日・ホテルメトロポリタン仙台、7 日・泉・パークタウンゴルフ倶楽部) テーマ:「SCインバウンドへの挑戦 海外からのお客様へのおもてなしと免税一括代行への取り組み」 「エスパル仙台のインバウンド対策」 仙台ターミナルビル(株) SC事業本部営業部営業グループ副部長 三浦 晃 氏 「玉川高島屋S・C 免税一括代行カウンターの取り組み」 東神開発(株) 営業本部玉川事業部管理グループチーフ 渡辺 信之 氏</p> <p>(4) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会 (11 月 25 日・ホテルメトロポリタン仙台) 出場者 62 名</p> <p>(5) 支部総会(2 月 18 日・ホテルメトロポリタン仙台) 参加者 56 名 新春講演会 「私とスポーツ ～スポーツ文化の未来像～」 元スピードスケート日本代表 銅メダリスト 岡崎 朋美 氏 賀詞交歓会</p>

関東・甲信越
支部

- (1) 運営委員会
 - ①第1回(7月17日・勝どき区民館)
 - ②第2回(12月9日・TKP)
- (2) SC業界若手育成研究会
 - ①第3回(6月12日・協会会議室) 参加者 43名
(第1部)講演セミナー「考え方・働き方・生き方を考える」
講師:出口 治明 氏 (ライフネット生命保険(株) 代表取締役会長兼 CEO)
(第2部)参加者交流会
 - ②第4回(7月8日・長野視察) 参加者 29名
(第1部)軽井沢・プリンスショッピングプラザ視察
(第2部)MIDORI長野視察
(第3部)参加者交流会
 - ③第5回(11月11日・協会会議室) 参加者 48名
(第1部)講演セミナー「インバウンドを知ろう」
講師:柿崎 一則 氏 (三菱地所・サイモン(株) 経営企画部 副部長
インターナショナルツアーマーケティンググループ リーダー)
(第2部)パネルディスカッション
「日本人客と訪日客をどう考えるか ～ブームにしないインバウンドの波～」
パネリスト:白山 弘子 氏 (東日本旅客鉄道(株) 東京駅 副駅長)
宮村 剛司 氏 (クラブツーリズム(株) インバウンド推進部チーフ)
石川 哲史 氏 (森ビル(株)営業本部 商業施設事業部
営業企画部2G 課長)
コーディネーター:
柿崎 一則 氏 (三菱地所・サイモン(株) 経営企画部 副部長
インターナショナルツアーマーケティンググループ リーダー)
(第3部)参加者交流会
 - ④第6回(3月7日・千葉県流山市視察) 参加者 27名
(第1部)レクチャー
「流山新市街地地区 安心・安全街づくりの取り組み」
講師:流山新市街地地区 安心・安全まちづくり協議会委員 色川 一紀 氏
「子育て拠点施設(駅前保育)の誘導～ライフガーデン流山おおたかの森～」
講師:(株)新都市ライフ 開発計画部 特命担当部長 色川 一紀 氏
「まちの魅力を高める役割を担ったSCづくり～流山おおたかの森S・Cに視る～」
講師:東神開発(株) 営業本部 流山事業部 副部長 竹内 吾郎 氏
(第2部)現地視察
・ライフガーデン流山おおたかの森(株)新都市ライフ
・流山おおたかの森S・C(東神開発(株))
(第3部)参加者交流会
- (3) 研修会
 - ①関東・甲信越支部・SC経営士会関東・甲信越ブロック共催セミナー
(10月9日・TKP) 参加者 136名
「駅と駅周辺の商業の連携による地域開発を学ぶ」
(第1部)単独セミナー
「ステーションからステーションシティへ～変貌する駅の役割～」
講師:表 輝幸 氏 (東日本旅客鉄道(株) 事業創造本部事業推進部門長)
(第2部)パネルディスカッション
「SC経営士パネルディスカッション-国際都市・東京の今後を考える-
～駅、まち、地域開発から検証する～」
パネリスト:三輪 美恵 氏(株)アトレ 常務取締役成長戦略室長(SC経営士))
秋山 浄司 氏(東京急行電鉄(株) 生活創造本部
リテール事業商業部統括部長(SC経営士))

	<p>野本 孝二郎 氏(三菱地所(株) 商業施設開発部副長(SC経営士)) コーディネーター: 疋田 佳久 氏(日本郵政(株) 不動産部門 不動産戦略部 担当部長(SC経営士関東甲信越ブロック長))</p> <p>(第3部)参加者交流会 ②三井ショッピングパークららぽーと海老名視察(11月25日) 参加者 50名 (第1部)バックヤード見学会 (第2部)講演 「「低成長」時代におけるSC「成長」戦略」 講師: 矢木 達也 氏 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士) (第3部)講演 「「ららぽーと海老名」開発コンセプトからオープン後の現況」 講師: 武藤 治彦 氏 (三井不動産商業マネジメント(株) ららぽーと海老名オペレーションセンター 所長)</p> <p>(第4部)参加者交流会</p> <p>(4) 単館SC研究会 ①第14回単館SC研究会(6月24日～25日・沖縄視察) 参加者 6名 視察先 沖縄アウトレットモールあしびなー、イオンモール沖縄ライカム ②第15回単館SC研究会(9月2日・協会会議室) 参加者 28名 ③第16回単館SC研究会(12月2日・協会会議室) 参加者 30名 ④第17回単館SC研究会(3月1日・晴海区民館) 参加者 31名</p> <p>(5) SC接客ロールプレイングコンテスト ①関東・甲信越大会(9月7日～11日・丸ビルホール) 出場者 289名 ②東京大会(9月29日～10月1日・日本橋三井ホール) 出場者 183名</p> <p>(6) 支部総会(2月25日・TKP) 参加者 47名 (第1部)支部総会 (第2部)講演会 「まちの価値を高めるSCづくり～共感のネットワーク「まちライブラリー」～」 講師: 磯井 純充 氏 (まちライブラリー提唱者/ (一財)森記念財団部長/大阪府立大学客員研究員)</p> <p>(第3部)懇親会</p>
中部支部	<p>(1) 運営委員会 第1回(8月18日・コンベンションルーム AP名古屋) *当初7月17日に実施予定であったが、台風のため延期して開催 第2回(11月25日・マリエとやま会議室) 第3回(3月15日・イオンモール常滑)</p> <p>(2) 中部支部・SC経営士会中部ブロック共催セミナー (11月25日・富山県民会館) 参加者 30名 基調講演「新幹線・都市交通と商業」 神戸大学大学院 教授 正司 健一 氏 「富山商業の実情」とパネルディスカッション 富山市 商工労働部長 和田 秀俊 氏 (株)まちづくりとやま 代表取締役副社長 城川 俊久 氏 (株)大和 取締役富山店長 岡本 志郎 氏 神戸大学大学院 教授 正司 健一 氏</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会(10月7・8日・吹上ホール)出場者 98名 (4) 支部総会(3月15日・イオンモール常滑) 参加者 約50名 (第1部)支部総会 (第2部)講演会 ①「伊勢志摩サミット成功への取組み、そして地域活性化に向けて」 講師: 伊勢志摩サミット三重県民会議 総務課課長 佐脇 優子 氏 ジュニア・サミット桑名市民会議事務局 平野 勝弘 氏 ②「イオンモール常滑の地域・行政とタイアップした『グローバル』の取組みについて」 講師: イオンモール(株)イオンモール常滑 ゼネラルマネージャー 岡田 拓也 氏</p>

<p>近畿支部</p>	<p>(1) 運営委員会 第1回(7月15日・大阪ターミナルビル会議室) 第2回(11月20日・大阪ターミナルビル会議室) 第3回(3月10日・ホテルモントレ大阪)</p> <p>(2) 中国・四国支部との交流会(11月20日) 参加者/視察23名、懇親会25名 グランフロント大阪、LUCUA、LUCUA1100 視察、懇親会</p> <p>(3) 接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月20～23日・ホテル京阪京橋) 出場者175名</p> <p>(4) 支部総会(3月10日・ホテルモントレ大阪) 参加者約30名</p> <p>(5) SC研究会 設立記念フォーラム(2月19日・大阪ターミナルビル会議室) 『心地よいSCとは・・・』 《パネリスト》(株)グルメ杵屋 店舗開発部店舗開発課 課長 丹后 秀次 氏 三和実業(株) 取締役業務部長 安藤 達雄 氏 イオンモール(株) イオンモール茨木ゼネラルマネージャー 横田 豊 氏 (株)京阪流通システムズ 取締役販売促進室 副室長 高草木 晶 氏 《コーディネーター》大阪市立大学大学院教授 加藤 司 氏</p> <p>(6) SCフォーラム(3月10日・ホテルモントレ大阪) 参加者約60名 “接客をオムニチャネル化する”パルコの次世代型SCへの挑戦 ～パルコが取り組む Web 接客と店頭 ICT 戦略～ 講師:(株)パルコ WEB/マーケティング部 部長 林 直孝 氏</p>
<p>中国・四国 支部</p>	<p>(1) 運営委員会 第1回(7月28日・広島駅ビル アッセ会議室) 第2回(11月20日・大阪ターミナルビル(株)内会議室) 第3回(3月1日・山陽SC開発(株)内会議室)</p> <p>(2) 近畿支部との交流会(11月20日) 参加者/視察23名、懇親会25名 グランフロント大阪、LUCUA、LUCUA1100 視察、懇親会</p> <p>(3) 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 (11月4・5日・広島YMCAホール) 出場者91名</p> <p>(4) 支部総会(3月1日・山陽SC開発(株)内会議室) 参加者20名</p> <p>(5) 記念講演会(パネルディスカッション)・懇親会(3月1日・ホテルメルパルク岡山) 参加者120名 「中国・四国エリアにおけるインバウンド取り組み事例と今後の課題」 講師① ASAKURA代表 RF代表 朝倉 禅 氏 講師② 協同組合連合会岡山市表町商店街連盟 事業推進部部长 矢部 久智 氏 講師③ (株)JTB 中国四国エグゼクティブプロデューサー 田村 秀昭 氏 司会 (株)リゾーム 専務取締役 金藤 純子 氏</p>

九州・沖縄 支部	<p>(1) 第1回運営委員会(7月10日・JR大分シティ会議室) 第2回運営委員会(3月18日・西鉄グランドホテル)</p> <p>(2) アミュプラザおおいた視察研修会 ～JR大分駅の新しい顔～ (7月10日・アミュプラザおおいた) 参加者 37名 講師:(株)JR大分シティ 代表取締役社長 関 信介 氏 (株)JR大分シティ 取締役営業部長 三好 大輔 氏</p> <p>(3) 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会 (11月10～11日・西鉄ホール) 出場者 79名</p> <p>(4) 支部総会(3月18日・西鉄グランドホテル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部総会 参加者約 30名 ・SC経営強化セミナー 参加者約 110名 「無印良品の思想と経営」 講師:(株)良品計画 代表取締役会長兼執行役員 金井 政明 氏 ・懇親会
-------------	--

IV. 委員会事業報告

1. 総務委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月22日>

- ① 入会、退会について
- ② 平成27年度第1四半期事業報告について
- ③ 平成27年度第1四半期収支報告について
- ④ 人材確保対策小委員会(仮称)について

(2) 第2回委員会<10月15日>

- ① 入会、退会について
- ② 平成27年度上半期事業報告について
- ③ 平成27年度上半期収支報告について
- ④ 2016中期経営計画について
- ⑤ 事務局規程の改定について
- ⑥ 人材確保対策について(小委員会途中報告)
- ⑦ SC経営士委員会とSC経営士会の役割について
- ⑧ 第44回定期総会の開催について
- ⑨ 第41回日本SC全国大会の開催について
- ⑩ その他
 - ・平成28年度税制改正要望について

(3) 第3回委員会<3月24日>

- ① 入会、退会について
- ② 事務局組織の再編について
- ③ 事務局規程の改定について
- ④ 人材確保対策について
- ⑤ 第7回日本SC大賞、第5回地域貢献大賞について
- ⑥ 平成27年度事業活動総括、平成28年度事業計画(案)について
- ⑦ 平成27年度収支見込み、平成28年度収支予算(案)について
- ⑧ 第44回定期総会の開催について
- ⑨ 2016中期経営計画(案)について
- ⑩ その他

2. 会員委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

- (1) 第1回委員会<6月30日>
 - 1) 入退会について
 - 2) 会員サービスについて
- (2) 第2回委員会<10月1日>
 - 1) 入退会について
 - 2) 会員サービスについて
 - 3) 会員勧誘について
- (3) 第3回委員会<12月17日>
 - 1) 入退会について
 - 2) 第4四半期の事業実施案
 - 3) 平成28年度会員委員会基本方針案について
- (4) 第4回委員会<2月25日>
 - 1) 入退会について
 - 2) 平成27年度事業計画と収支(見込)について
 - 3) 平成28年度基本方針・事業計画・予算(案)について

2. 主な活動報告

(1) 総括

会員数では、年度末の目標会員数 980 社を達成することができた。これは、平成 24 年 4 月に協会が社団法人から一般社団法人へ移行し、会員志向をさらに強化し続けてきた 4 年間、継続しての目標達成である。各委員会が会員視点で事業を行い、サービス向上に取り組んだ結果と言える。本委員会では、3 月にディベロッパーとテナント店舗開発担当者との交流会を開催した。

(2) 事業報告

1) 会員の入退会数

3 月 31 日現在、入会 69 社(前年同数)、退会 58 社(前年同数)。

期首 976 社に対して、会員数は年度末の目標 980 社を上回り 987 社となった。

2) 入退会企業の特徴

①入会

今年度入会した 69 社の特徴は、次の通りである。

第一種正会員:SC大賞の入賞企業やノミネート企業、単館ディベロッパーから大手企業9社中6社がご紹介による入会。

第二種正会員:33社入会のうち、靴の製造販売など雑貨関連が16社と半数を占めた。反対にアパレルは2社で昨年と同数、飲食関係は8社、プラネタリウムやフットサル場などサービス店舗も7社入会した。

賛助会員:27社入会のうち、コンサルタント企業とその他企業団体で19社、SC経営士に代表される個人会員が昨年の8名になり、昨年よりプラス5名の入会があった。

②退会

今年度退会をした58社の主な退会理由は、会員種別を問わず経費削減が一番多い理由であるが、その他の理由は下記の通りである。

会員種別	理由1	理由2
第一種正会員	管理体制の変更	会社方針の変更
第二種正会員	SC出店の縮小または計画なし	会社方針の変更
賛助会員	廃業、撤退	会社方針の変更

3) 会員サービス

会員委員会では、7月にテナント企業を対象に、会員サービス向上の参考とするためアンケートを実施したほか、10月に近畿支部でセミナーと交流会を行った。3月にはディベロッパーとテナント店舗開発担当者との交流会を開催した。

交流会については、各委員会以外にも支部活動の一環として、視察研修会などを通し活発になってきていることから、今後は支部活動のサポートも進め、会員サービスの向上に繋げる。

3. 公共政策・環境委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回公共政策・環境委員会<7月1日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会の報告について
- ② 委託型免税制度の普及状況について

2) 審議事項

- ① 平成27年度公共政策・環境委員会所管事業の進め方について
- ② 平成27年度第1回環境小委員会の審議内容について

(2) 第1回環境小委員会<7月1日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会の報告について
- ② 平成27年度事業計画について

2) 審議事項

- ① 平成27年度年間業務スケジュール(案)について
- ② 平成27年度エネルギー調査実施(案)について
- ③ クールシェア・ウォームシェア参加(案)について
- ④ 循環型社会形成(3R)の研究及び環境セミナーの企画骨子(案)について
- ⑤ 2020年以降の地球温暖化対策の取り組みについて
- ⑥ 省エネ法ベンチマーク制度について

(3) 第2回公共政策・環境委員会<11月17日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会の報告について
- ② 委託型免税制度の普及状況等について
- ③ 地方自治体や地域物産協会等との連携について
- ④ 平成27年度第2回環境小委員会(11月13日開催)審議結果について

2) 審議事項

- ① 平成28年度税制改正要望について
- ② 商業施設内の遊戯施設における安全対策について
- ③ 省エネ法ベンチマーク制度について
- ④ 2020年以降の地球温暖化対策の取り組みについて

(4) 第2回環境小委員会<11月13日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会の報告について
- ② クールシェア、ウォームシェア報告について
- ③ 平成27年度エネルギー調査(平成26年分)の実施結果について
- ④ 環境セミナーについて

2) 審議事項

- ①省エネ法ベンチマーク制度への対応について
- ②2020年以降の自主的取組について

(5)第3回公共政策・環境委員会<3月17日>

1) 報告事項

- ①前回委員会の報告について
- ②平成28年度税制改正要望結果について
- ③第3回環境小委員会(3月16日開催)報告
- ④商業施設内の遊戯施設における安全対策について
- ⑤消防庁・自衛消防組織及び防災管理の実効性向上専門家会合報告書について
- ⑥平成27年度 公共政策・環境委員会活動総括
- ⑦平成27年度 公共政策・環境委員会収支見込

2) 審議事項

- ①平成28年度 公共政策・環境委員会 基本方針及び事業計画骨子(案)
- ②平成28年度 公共政策・環境委員会 収支予算(案)
- ③ベンチマーク指標検討に必要なデータの収集について

(6)第3回環境小委員会<3月16日>

1) 報告事項

- ①前回委員会の報告について
- ②経済産業省低炭素社会実行計画フォローアップWG報告
- ③業務部門におけるベンチマーク制度について
- ④SCにおける3R研究～地域循環社会を考える視察セミナー～の開催結果について
- ⑤平成27年度環境小委員会事業総括と収支見込

2) 審議事項

- ①平成28年度環境小委員会事業計画骨子(案)について
- ②平成28年度環境小委員会収支予算(案)について
- ③ベンチマーク指標検討に必要なデータの収集について

2. 主な活動報告

(1)総括

公共政策・環境委員会の平成27年度事業で最大のトピックは、訪日外国人向け免税制度の改正への取り組みであった。平成27年4月からの「免税手続一括カウンター」の創設のほか、観光庁、経済産業省と連携し、免税制度改正に向けた提言、税制改正要望を行なった。その結果、平成28年5月1日施行の予定となった。

また、平成27年10月に消費者委員会から建議された「商業施設内の遊戯施設における安全対策」については、会員ディベロッパーからの協力を得て経済産業省と連携して対応した。

(2) 事業報告

1) 公共政策

- ①平成 28 年度税制改正要望を外国人向け免税制度改正に絞込み、その実現に向けて観光庁、経済産業省と連携して活動を行なった。
また、免税手続一括カウンター普及啓発活動として、国際委員会と協力して東京(6 月)と大阪(9 月)で説明会を開催した。
- ②東日本大震災復興支援活動の継続的活動として、2016 年 1 月開催の第 40 回日本SC全国大会・SCビジネスフェア 2016 会場に「復興応援コーナー」を設置し、福島、宮城、岩手の 3 県の特産品販路拡大を図った。また、更なる復興支援を行なうために、3 月 18 日宮城県女川町に赴き関係者と意見交換を行なった。
- ③地方自治体や地域物産協会などとの連携では、会員SCの協力を得て、旭川物産協会の催事を 2 SCで、沖縄物産展を 1SCで実施した。
- ④国連難民高等弁務官事務所から、SC内で広報活動を展開したい旨の要請があり、当委員会で説明会を開催し、結果、委員企業SCでの広報活動が実現した。

2) 環境

- ①平成 27 年度エネルギー量実態調査(平成 26 年分)の実施について
2013 年(平成 25 年)以降の「SC業界における環境対策の取組み」において、SC業界では、基準年 2005 年のエネルギー原単位 $0.182\text{kWh}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ に対し 2013~20 年の 8 年間でエネルギー原単位を 13%削減することを目標とした。
調査の結果、平成 27 年度(平成 26 年実測値)は $0.123\text{kWh}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ となり、前年度 $0.128\text{kWh}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ から 3.9%削減された。また、参加企業数は昨年度の 104 社・515SC から、100 社・478SC となった。なお、本調査結果は例年どおり経済産業省に提出した。
- ②環境セミナーの実施
「SCにおける3R研究～地域循環社会を考える視察セミナー～」をテーマに視察セミナーを 2 月 24 日(水)に実施、参加人数は 17 名だった。
- ③クールシェア・ウォームシェアへの協力について
昨年同様、環境省が参加を呼びかけているクールシェア、ウォームシェアに賛同する会員企業に参加を依頼した。また、今年度も協会が作成したクールシェア、ウォームシェアのポスターデータを会員企業に提供し、SC館内での掲示などに活用された。
- ④ベンチマーク制度の検討
省エネ法における数値目標(エネルギー消費原単位を年平均 1%以上低減)達成を補完するものとして「セクター別ベンチマーク(セクター別の独自目標)」を、業務部門(小売業や不動産業、ホテルなど)にも導入することを資源エネルギー庁が検討している。環境小委員会を中心に、SC業界への導入の可能性について継続して研究している。
- ⑤政府施策に対する要望・提言について
現在政府が導入を検討している上記ベンチマーク制度の設定にあたり、SC業界として採用する評価指標について「工場等判断基準ワーキンググループ」に参画し、意見・要望を行なった。

4. 国際委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月6日>

1) 報告事項

- ①平成27年度事業計画について
- ②委託型免税制度事例研究会開催結果について
- ③委託型免税制度の普及状況等について
- ④ICSC主催のREConラスベガス視察について

2) 審議事項

- ①平成27年度国際委員会所管事業の進め方について
 - ・インバウンド対策について
 - ・海外事業展開の際に資する情報の提供について
 - ・海外に向けて情報発信について
 - ・国際交流について
- ②全国大会シンポジウム・セミナー「インバウンド」パネルディスカッションについて

(2) 第2回委員会<11月30日>

1) 報告事項

- ①委託型免税制度の普及状況等について
- ②CASC2015について
- ③APRC(アジア太平洋調査委員会)について
- ④台北国際旅行博覧会について
- ⑤全国大会について
 - ・有料セミナーSCシンポジウム③「インバウンド」パネルディスカッションについて
 - ・SCビジネスフェア2016 海外ディベロッパーエリアの設置について
- ⑥インドネシア視察団・日本の商業施設のスタディーツアーについて
- ⑦日本小売業協会 第17回アジア太平洋小売業者大会(マニラ大会)について

2) 審議事項

- ①海外で開催される国際旅行博覧会などの出展について
- ②免税制度の改正について

(3) 第3回委員会<3月16日>

1) 報告事項

- ①「第40回日本ショッピングセンター全国大会」について
- ②小売業における多言語表示のガイドラインについて
- ③外国人旅行者向け免税制度について
- ④国際交流について
- ⑤平成27年度国際委員会活動総括と収支見込について

2) 審議事項

- ①平成28年度国際委員会事業計画骨子(案)について
- ②平成28年度収支予算(案)について

2. 主な活動報告

(1)総括

国際委員会は平成 27 年度基本方針と事業計画に基づき、積極的に活動を行った。

(2)事業報告

1) インバウンド対策

東京と大阪で平成 27 年 4 月に導入された委託型免税制度説明会を公共政策・環境委員会と協力して開催した。また、台湾の国際旅行博覧会を視察、国際旅行博覧会への出展がインバウンド対策として有効かどうか検討に着手した。

2) 海外事業展開の際に資する情報の提供

SCビジネスフェア 2016 での海外ディベロッパーエリア設置の際に協力。マレーシア、中国、台湾のディベロッパーが日本のテナント誘致のために出展した。

3) 海外に向けて情報発信

中国のシンセンで開催された CASC2015 において小久保委員長が「New Development and Challenges of Japanese Shopping Centers (Sources of Growth and Opportunities)」と題した講演を行った。また、海外向けに SC 接客ロールプレイングコンテストの紹介を中心とした動画を制作した。

4) 国際交流

CASC ミーティングに出席、アジア各国のSC団体と情報交換をした。また、全国大会実行委員会と協力してREConラスベガスを視察研究、主催者である ICSC とミーティングをして情報交換をした。なお、モールチャイナの代表及び ICSC アジアパシフィックの Managing Director がSCビジネスフェアに来場、それぞれが当協会と情報交換した。

5. 人材育成委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<4月15日>

- 1) 通信教育平成26年度学校長賞候補者について
- 2) セミナー企画案(8~10月実施予定セミナー)について
- 3) 海外研修ツアー企画案(9月実施 欧州)について
- 4) テナント必携ハンドブック改訂作業進捗状況について

(2) 第2回委員会<6月8日>

- 1) 平成27年度4~5月事業報告及び収支報告について
- 2) セミナー企画案(10~12月実施予定、トピックスセミナー)について
- 3) 海外研修ツアー企画案(11月実施 米国東海岸)について

(3) 第3回委員会<10月16日>

- 1) 平成27年度上半期(4~9月)事業報告及び収支報告について
- 2) セミナー企画案(2~3月実施予定)について
- 3) SCアカデミー 今期卒業論文審査方法、次期カリキュラム案について
- 4) 平成28年度冠講座実施案について

(4) 第4回委員会<12月3日>

- 1) 平成27年度4~11月事業報告及び収支報告について
- 2) 平成28年度基本方針案及び事業計画案について
- 3) 平成28年度セミナー企画案(4~5月実施予定)について
- 4) SCアカデミー10周年記念イベントについて

(5) 第5回委員会<2月15日>

- 1) 平成27年度4~1月事業報告及び収支報告について
- 2) 平成27年度事業総括及び収支見込みについて
- 3) 平成28年度基本方針案及び事業計画案・予算案について
- 4) 平成28年度セミナー企画案(6~7月実施予定+緑陰トップフォーラム)について
- 5) 平成28年度冠講座カリキュラムについて

2. 主な活動報告

(1)総括

セミナーは前年度の分析結果を基に、開催本数、開催時期、開催場所など整理し、ベースとなる既存セミナー44本と重点課題として「インバウンド対応」をテーマとした新たなセミナー2本を加えた計46本のセミナーを実施した。

海外研修会は5月にICSC主催のコンベンション『RECon』に合わせた米国西海岸(ラスベガス、フェニックス、ポートランド)、9～10月にイタリア『ミラノ博』の開催に合わせたヨーロッパ(ミラノ、アムステルダム、ブリュッセル)、11月にニューヨークを中心とした「米国東海岸」(マイアミ、ニューヨーク)の3本を催行した。

SCテナント必携ハンドブックは新規事業「SC接客マイスター検定制度」のスタートに合わせ、平成26年度から改訂作業を進め、内容を刷新し、名称も新たに『SCテナントスタッフハンドブック』として5月に改訂版を出版した。

SCアカデミーは第9期生44名が受講し、「SC序論(合宿)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」、「特別研修」のコースで実施し、44名全員が修了した。

大学で実施する冠講座は、北星学園大学(北海道札幌市)で前期に実施した。全15単元、テーマを『ショッピングセンター(SC)の歴史や計画、開発、運営を学ぶ』とし、北海道支部及びSC経営士の協力を得て講義を行い、約210名の学生が受講した。

(2)事業報告

1) セミナー

年度	開催数	延べ参加者数 (1回当たり平均参加者数)	予定参加者数 (1回当たり平均参加者数)
平成27年度	46本	1,829名(39.8名)	1,960名(43.0名)
平成26年度	48本	2,085名(43.4名)	2,240名(43.9名)

セミナー名	開催期日	開催地	階層	参加者数	予定参加者数
SCのCS・ES向上セミナー	4月17日	東京	C	31	35
SC基本管理運営セミナー2日間	4/23～24	東京	A	59	45
4月		2本		90	80
危機管理対策セミナー	5月13日	東京	C	51	45
テナントミックス構築セミナー	5月14日	東京	C	37	35
SC販促・イベントセミナー(広域集客)	5月21日	東京	C	38	45
SC出店契約書作成セミナー	5月27日	東京	A	40	40
5月		4本		166	165
SCクレーム対策セミナー	6月4日	大阪	C	25	35
新入社員向けセミナー	6月16日	東京	A	67	45
SC事業戦略セミナー第1回(マネジメント編)	6月17日	東京	D	42	30
6月		3本		134	110
SC事業戦略セミナー第2回(マーケティング編)	7月9日	東京	D	17	30
SC販促・イベントセミナー	7月14日	大阪	C	28	35
リーシング担当者ステップアップを目第1回	7月16日	東京	B	58	45
リーシング担当者ステップアップを目第2回	7月23日	東京	B	59	45
顧客情報(IT、ポイントカード)活用セミナー	7月28日	東京	C	42	40
リーシング担当者ステップアップを目第3回	7月30日	東京	B	49	45

7月	6本			253	240
ショップマネジメント力強化セミナー	8月4日	東京	C	16	30
SC 緑陰トップフォーラム	8/5~6	北海道	E	84	70
SC 法律セミナー	8月7日	東京	C	57	45
SC 運営の基礎知識を学ぶ第1回(管理運営)	8月20日	東京	A	40	55
SC 運営の基礎知識を学ぶ第2回(テナント営業管理)	8月27日	東京	A	37	55
8月	5本			234	255
SC 運営の基礎知識を学ぶ第3回(プロモーション)	9月3日	東京	A	50	55
飲食・食品ゾーン活性化セミナー	9月8日	東京	C	33	50
SC 運営の基礎知識を学ぶ第4回 (テナントミックス、リーシング、出店契約)	9月10日	東京	A	43	55
SC 販促・イベントセミナー(地域密着戦略)	9月15日	東京	C	41	45
SC 運営の基礎知識を学ぶ第5回 (テナント更新、リニューアル)	9月17日	東京	A	44	55
SC 施設管理セミナー	9月29日	東京	C	37	40
9月	6本			248	300
SC テナントリーシングセミナー	10月7日	東京	C	30	40
第14回 SC 秋晴れトップフォーラム	10月13日	東京	E	53	60
SC インハウント対策セミナー 入門編	10月19日	東京	C	26	45
まちづくり・地域活性化セミナー	10月21日	東京	C	33	30
SC 駐車場改善セミナー	10月28日	東京	C	28	35
10月	5本			170	210
SC 法律セミナー	11月12日	大阪	C	39	35
SC 基本開発セミナー	11/19~20	東京	A	33	30
テナントスタッフ向けクレーム対応セミナー	11月26日	東京	A	29	55
11月	3本			101	120
SC テナントスタッフ研修セミナー	12月3日	東京	C	39	45
SC リニューアル対策セミナー	12月4日	東京	C	51	35
12月	2本			90	80
プロモーション担当者ステップアップ第1回	2月9日	東京	B	28	35
SC 基本管理運営セミナー	2/18~19	大阪	A	24	35
インハウント対策 ユニバーサルデザイン編	2月22日	東京	C	9	45
プロモーション担当者ステップアップ第2回	2月23日	東京	B	38	35
SC 契約実務対策セミナー	2月26日	東京	C	53	45
2月	5本			152	195
テナント営業管理担当者ステップアップ第1回	3月3日	東京	B	51	45
テナント営業管理担当者ステップアップ第2回	3月4日	東京	B	45	45
プロモーション担当者ステップアップ第3回	3月8日	東京	B	26	35
SC マネジャー交流セミナー at EXPOCITY	3月15日	大阪	D	34	35
ディベロッパー向け SC クレーム対策セミナー	3月16日	東京	C	35	45
3月	5本			191	205
合計	46本			1,829	1,960

階層…A基本編、Bステップアップ編、C事例中心、D中堅向け、E経営者向け

2) 海外研修

年度	開催数	参加者数	予定参加者数
平成27年度	3回	85	75
平成26年度	3回	80	75

ツアー名	開催期日	訪問都市	参加者数	予定参加者数
第130回	5/18～25(8日間)	米国西海岸 (ラスベガス、フェニックス、ポートランド)	16	25
第131回	9/28～10/5(8日間)	欧州 (ミラノ、アムステルダム、ブリュッセル)	32	25
第132回	11/11～17(7日間)	米国東海岸 (マイアミ、ニューヨーク)	37	25

3) 通信教育

講座名	平成27年度		平成26年度	
	受講生数	予定数	受講生数	予定数
SC開発講座	220	155	234	120
SC管理運営講座	573	501	507	480
合計	793	656	741	600

4) SCテナントスタッフハンドブック 販売数 521 冊(予算 1003 冊 平成 26 年度実績 95 冊)

5) サポート関連(研修講師派遣) 実施数 472 件(予算 315 件 平成 26 年度実績 352 件)

6) SCアカデミー

平成 27 年度は第 9 期生 44 名を迎え、以下のとおり実施し 44 名全員が修了した。

- 4 月 2 日…第 8 期修了証授与式及び第 9 期開講式
- 4 月 9～10 日…SC 序論(合宿研修、担当指導教授:小嶋先生)
- 4 月 17 日～6 月 5 日(全 6 回)…SC 総論 I (担当指導教授:望月先生)
- 6 月 12 日～7 月 17 日(全 6 回)…SC 総論 II (担当指導教授:彦坂先生)
- 8 月 28 日～11 月 13 日(全 8 回)…SC 実践論(担当指導教授:藤山先生)
- 7 月 24 日、9 月 25 日、11 月 6 日(全 3 回)…特別研修(担当指導教授:早川先生)
- 7 月 31 日、9 月 18 日、10 月 16 日、11 月 20 日(全 4 回)…ゼミ
- 11 月 20 日～2 月 15 日…卒業論文の制作・提出

7) 冠講座

大学名	テーマ	単元数	受講者
ほくせい 北星学園大学	ショッピングセンター(SC)の歴史や 計画、開発、運営を学ぶ	15単元	約210名

北海道支部及びSC経営士と連携し、15単元の講義を行った。

6. 情報委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

委員会 3 回、編集会議 9 回開催した。

(1) 第 1 回委員会<7 月 2 日>

審議事項

- ① 月刊誌 2015 年 10 月号特集企画案について
- ② 月刊誌連載新企画について
- ③ Web サイトのリニューアルについて
- ④ 広報活動について

(2) 第 2 回委員会<12 月 4 日>

審議事項

- ① 2016 年度月刊誌年間特集テーマ案について
- ② 2016 年 4 月号特集企画案について
- ③ Web バナー広告料金改定について

(3) 第 3 回委員会<3 月 2 日>

審議事項

- ① 平成 28 年度事業計画骨子(案)
- ② 平成 28 年度収支予算(案)
- ③ 月刊誌の特集企画について

2. 主な活動報告

(1)総括

月刊誌の特集では、編集委員ならびに各委員会の協力のもと、タイムリーに情報を収集し、現場でも使える実務的なケーススタディの掲載に努めた。なかでも 10 月号では「女性が輝くSCはみんなが働きやすい職場」と題し、これまでになかったテーマで特集を組んだ。政府が女性の活躍を推進しているが、SCの現場でも女性の活躍が増えてきている事例などを紹介した。

また、広報活動の充実を図るため、平成 26 年度より検討してきた協会Webサイトを、11 月 2 日にリニューアルした。見やすい構成(直感的に画面操作ができる。ワイド画面、タブレット、スマホ対応)や、協会レポート、SNSの利用などの情報発信のコンテンツの強化を図った。

そのほか記者懇談会を年 2 回、8 月と 12 月に実施し、マスコミとのネットワークづくりを図った。

(2)事業報告

1) 月刊誌

情報委員会委員にご参画いただき、時流に沿ったテーマ、内容の特集を企画することができた。

①特集テーマ

月号	特集テーマ
4月号	訪日客の心をつかめ！キーワードは伝える・揃える・おもてなしのSC
5月号	街が変わる ～“新”北陸を徹底研究～
6月号	接客こそSCの宝～おもてなしのスペシャリストは語る～
7・8月合併号	第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞/SCの最新リニューアル事例
9月号	SC販促の極意 ～DV・TN・顧客はもっと満足できる～
10月号	女性が輝くSCはみんなが働きやすい職場
11月号	専門店の今 ～モノを売り、集いを生み出す場へ～
12月号	成熟期を迎えたSCの管理運営のあり方 ～ファシリティマネジメントの視点から～
1・2月合併号	新しい消費者をねらえ ～多様化する消費スタイルに応える～
3月号	第40回日本ショッピングセンター全国大会

②月刊誌連載新企画について

かねてから要望の多かった「SC法律コーナー」を、2016年1・2月合併号より連載。

執筆者は協会顧問弁護士 片柳法律事務所 片柳 昂二氏。

2)協会Webサイトのリニューアル

平成26年度より検討してきた協会Webサイトは、11月2日にリニューアルを行った。(10月29日にプレオープン)

<改良の主なポイント>

- ①見やすい構成:直感的に画面操作ができる。ワイド画面、タブレット、スマホ対応
- ②分かりやすい表記
- ③分類の整理・統合
- ④階層を減らす(クリック数を減らす工夫)
- ⑤ライブ感を出す→協会レポート、SNSの利用
- ⑥一般ページと会員ページの整理

3)広報活動

①ニュースリリースの配信

SC販売統計調査報告を毎月配信したほか、協会行事に合わせてニュースリリースを配信した。配信数39回(3/11現在)

- 1.販売統計(3月分～1月分)
- 2.第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞 (※)
- 3.定期総会 (※)
- 4.次期正副会長及び専務理事候補について
- 5.テナントスタッフ向け新資格制度「SC接客マイスター」

- 6.「SCテナントスタッフハンドブック」発行
- 7.「SC経営士誕生 25 周年記念論文」募集
- 8.定例記者懇談会(夏、冬) (※)
- 9.SC接客ロールプレイングコンテスト支部大会(7 支部・8 大会)
- 10.第 40 回日本ショッピングセンター全国大会 (※)

(※)記者クラブへの投げ込み あり 135 件/回

(東商記者クラブ 30 件、国土交通省記者会 70 件、国土交通省運輸記者会 15 件、
国土交通省建設専門誌記者会 20 件)

②メルマガの配信

毎月 15 日および 30 日に配信。主な内容は、協会活動、セミナー募集等。
配信数は 5750 件前後で推移。

*2015 年 4 月～2016 年 3 月までの配信数

メルマガ配信数一覧

号	発行日	配信数
第 127 号	4 月 15 日	6111
第 128 号	4 月 30 日	6092
第 129 号	5 月 15 日	6080
第 130 号	5 月 29 日	6054
第 131 号	6 月 16 日	6065
第 132 号	6 月 30 日	6055
第 133 号	7 月 15 日	6051
第 134 号	7 月 31 日	6067
第 135 号	8 月 14 日	6105
第 136 号	8 月 31 日	6096
第 137 号	9 月 15 日	6100
第 138 号	9 月 30 日	6075
第 139 号	10 月 15 日	6055
第 140 号	10 月 30 日	6038
第 141 号	11 月 16 日	6035
第 142 号	11 月 30 日	6026
第 143 号	12 月 15 日	5773
第 144 号	12 月 25 日	5755
第 145 号	1 月 13 日	5750
第 146 号	1 月 29 日	5750
第 147 号	2 月 15 日	5750
第 148 号	2 月 29 日	5741
第 149 号	3 月 15 日	5742
第 150 号	3 月 31 日	5738

③記者懇談会の開催

SC業界の動向および協会活動の報告、協会役員とマスコミとの交流を目的に行われた。

2回実施:8月4日、12月21日

④取材

- 1.日本テレビ/ニュースエブリ(4/9):SC数など
- 2.日経MJ(4/16):アウトレットモールについて
- 3.TBS・所さんのニッポンの出番(4/20):SC総数
- 4.日本テレビ/ニュースエブリ(4/23):開業SCの特徴、テナント構成など
- 5.日経新聞(4/24):SC総数、開業数
- 6.テレビ山口(5/22):SC大賞部門賞特別賞「小野田サンパーク」
- 7.WWD JAPAN(5/25):SC大賞
- 8.日本テレビ/ニュースエブリ(6/10):SCの総数
- 9.フジテレビ/全力!脱力タイムズ(7/1):SC数(ららぽーと富士見のロケVTRでのナレーション)
- 10.フジテレビ/ノンストップ(7/6):アウトレットモールの数について
- 11.WWD JAPAN(7/13):アウトレットモールの数について
- 12.北日本新聞(7/14):アウトレットモールの数について
- 13.日経MJ(9月):地方SC生き残り術
- 14.日経新聞(10月):4月~9月のSC動向
- 15.朝日新聞(11月):エキスポシティの開業日の夕刊に専務理事コメント
- 16.瀬戸内海経済レポート(11月):2005年からのSC数
- 17.テレビ東京/ガイアの夜明け(11月~12月):地方SCで健闘しているところなど
- 18.読売新聞(大阪)(11月):SC動向など
- 19.WBS:関東のSC動向(11月)
- 20.関西テレビ(1月):SCの総数、動向など

7. 調査研究委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月29日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会(平成27年3月4日)の報告
- ② 平成27年度調査研究委員会事業計画骨子について
- ③ SC白書2015及び各種報告書について
- ④ 月間SC販売統計調査報告

2) 審議事項

- ① 平成27年度事業計画の実施スケジュールについて
- ② SCの立地区分について
- ③ 賃料・共益費調査の実施について
- ④ 夏期バーゲン調査の実施について

(2) 第1回小委員会<7月29日>

1) 報告事項

- ① 平成27年度第4回調査研究委員会(平成27年3月4日)の報告
- ② 平成27年度調査研究委員会事業計画骨子について

2) 審議事項

- ① 平成27年度事業計画の実施スケジュールについて
- ② SCの立地区分について(精査作業の中間報告等)

(3) 第2回小委員会<10月20日>

1) 報告事項

- ① 平成27年度第1回SC用語等標準化研究小委員会報告

2) 審議事項

- ① 新立地区分の精査作業報告について
- ② 新版SC用語辞典の改訂について

(4) 第2回委員会<10月26日>

1) 報告事項

- ① 前回委員会(平成27年7月29日)の報告
- ② 月間SC販売統計調査報告
- ③ 平成27年夏期セール調査報告
- ④ 各種出版物の販売報告
- ⑤ 平成27年版賃料・共益費調査について

2) 審議事項

- ① SCの立地区分変更について
- ② SC営業時間、休業日数等の調査について
- ③ 新版SC用語辞典の改訂について
- ④ 年末・年始販売統計調査について

(5) 第3回委員会<3月3日>

1) 報告事項

- ①前回委員会(平成27年10月26日)報告
- ②平成27年末SC概況他の調査報告について
- ③人材確保定量的調査結果について
- ④各種出版物の販売報告
- ⑤平成27年度調査研究委員会活動総括
- ⑥平成27年度調査研究委員会収支見込

2) 審議事項

- ①平成28年度調査研究委員会事業計画骨子(案)
- ②平成28年度調査研究委員会収支予算(案)
- ③SC白書2016の構成について
- ④SC用語辞典の改訂について

2. 主な活動報告

(1) 総括

平成27年度事業計画で予定した、SCオープン情報や計画情報の提供、SC白書の作成、既存調査(販売統計、賃料・共益費調査)などを確実に実施した。

また、SC立地区分の改訂を実施し、2016年1月度のSC販売統計調査から新しいSC立地区分で調査を実施した。

(2) 事業報告

1) SCの開発計画、オープンに関する情報収集活動

- ①計画SCの情報収集及び速報版の提供 【毎月会員専用HPに掲載】
- ②大店立地法の届出状況の情報収集及び提供 【「SC JAPAN TODAY」に毎月掲載】
- ③オープンSCの情報収集及び提供 【毎月HP及び「SC JAPAN TODAY」に毎月掲載】

2) 調査・分析活動

- ①「SC販売統計調査(各月)」 【毎月HP及び「SC JAPAN TODAY」に毎月掲載】

【SC既存店売上高前年比】

2015年3月	-10.7%(集計SC数 508)
2015年4月	4.7%(集計SC数 501)
2015年5月	3.9%(集計SC数 500)
2015年6月	-1.5%(集計SC数 501)
2015年7月	1.8%(集計SC数 503)
2015年8月	1.6%(集計SC数 508)
2015年9月	2.9%(集計SC数 486)
2015年10月	2.8%(集計SC数 500)
2015年11月	-2.9%(集計SC数 495)
2015年12月	-0.1%(集計SC数 505)
2016年1月	0.9%(集計SC数 513)
2016年2月	0.3%(集計SC数 519)

②夏期バーゲンセール調査の実施

2015 年夏期バーゲンセールの販売動向について会員企業にアンケート調査を行い、結果を協会 HP に掲載した。

【結果(対前年比)】

1 日当り平均売上高	1.7%
1 日当り平均レジ客数	1.0%
平均客単価	1.9%

③2015-16 年末年始販売統計調査の実施

2015-16 年末年始の販売動向について会員企業にアンケート調査を行い、結果を協会 HP に掲載した。

【結果(対前年比)】

売上高	0.1%
レジ客数	1.2%
平均客単価	-0.7%

3) 「SC 賃料・共益費調査」

平成 27 年 11 月に発刊し、協会 HP 内会員のページに掲載した。また、会員外向けに CD-ROM を製作し、販売した。なお、調査協力 SC 数は前年度(2014 年度)の 372 から 389 に増加した。

4) 『SC 白書 2015』の発行

- ①発行日 5 月 22 日
- ②テーマ ボーダーレス化時代を牽引する SC
- ③コンテンツ
 - 1. 2014 年の SC 業界動向
 - ・2014 年オープン SC、SC の現況、SC 賃料・共益費 2014
 - ・SC におけるエネルギー量実態調査報告 2014
 - ・SC の地域貢献
 - 2. 第 6 回日本 SC 大賞・第 4 回地域貢献大賞受賞 SC 一覧
 - 3. 海外の SC 概況
 - ・アメリカの SC 概況
 - ・ヨーロッパの SC 概況
 - ・中国の SC 概況および東南アジア(ミャンマー、カンボジア)の概況
 - 4. 資料編
 - ・時系列データにみる SC (2001～2014 年)
 - ・都道府県別・政令指定都市別・立地別 SC 数、市町村別 SC

5) 新立地区分の精査

小委員会での検討を経て本委員会で承認された、新立地区分(中心地域と周辺地域)の精査を行い、平成 28 年 1 月分販売統計から適用し 2 月 22 日協会 HP にて発表した。

6) 人材確保に関する定量的調査(ディベロッパー、テナント)の実施

総務委員会人材確保小委員会からの要請を受け「人材確保に関する定量的調査(ディベロッパー、テナント)」を 11 月～12 月にかけて実施した。

7) その他

<各種報告書の販売状況>(2015 年 4 月～2 月末)

- ①「SC 白書 2015」刊行(5 月 22 日)
 - ・販売冊数 200 冊 (年間予算:164 冊)
- ②「SC 賃料・共益費 2015」刊行(2015 年 11 月末)
 - ・販売冊数 114 冊 (年間予算:80 冊)

8. SC経営士委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

<SC経営士委員会>

(1) 第1回委員会 <6月19日>

- 1) 平成27年度第24期SC経営士試験について
- 2) SC経営士認知度向上の取り組みについて
- 3) SCマネジメントブック改訂について
- 4) SC経営士記念論文について
- 5) SC経営士会 幹事・ブロック長人事について
- 6) SC経営士会 活動予定について

(2) 第2回委員会 <9月11日>

- 1) 第24期SC経営士一次試験結果について
- 2) 第24期SC経営士二次試験について
- 3) SC経営士委員会とSC経営士会のあり方について
- 4) SC経営士認知度向上の取り組みについて
- 5) SCマネジメントブック改訂WG状況報告について
- 6) SC経営士記念論文について
- 7) 新SC経営士(第23期)交流会について
- 8) SC経営士会 活動予定について

(3) 第3回委員会 <12月18日>

- 1) 第24期SC経営士二次試験結果について
- 2) 平成27年度登録更新状況について
- 3) SC経営士認知度向上の取り組みについて
- 4) SCマネジメントブック改訂WG状況報告について
- 5) SC経営士記念論文審査結果について
- 6) 平成28年度基本方針案について
- 7) SC経営士25周年記念事業について
- 8) SC経営士会 活動予定について

(4) 第4回委員会 <3月2日>

- 1) 平成27年度事業報告及び収支見込について
- 2) 平成28年度基本方針、事業計画及び予算案について
- 3) 第25期SC経営士試験について
- 4) 平成28年度登録更新講習について
- 5) 年間スケジュールについて
- 6) SCマネジメントブック改訂WG状況報告について
- 7) SC経営士試験制度見直しについて

<SC経営士試験実行委員会>

- (1) 第1回委員会 <5月8日>
 - 1) 第24期SC経営士試験問題項目について
 - 2) 一次試験科目別有効期間について
 - 3) 二次試験論文テーマ一本化について

- (2) 第2回委員会 <6月19日>
 - 1) 第24期SC経営士試験問題
 - 2) 二次試験論文テーマ案、口頭試問について
 - 3) 一次試験科目別有効期間について

- (3) 第3回委員会<7月17日>
 - 1) 一次試験の合格基準について
 - 2) 試験当日の試験監督官について
 - 3) 二次試験論文テーマ案について
 - 4) 口頭試問の質問パターン化について
 - 5) マークシート採点時について
 - 6) 試験問題と解答の精査について
 - 7) 口頭試問日程について

- (4) 第4回委員会 <9月18日>
 - 1) 第24期SC経営士一次試験結果について
 - 2) 二次試験論文テーマ案について
 - 3) 二次試験口頭試問について
 - 4) 来年度以降SC経営士一次試験の問題点と課題について

- (5) 第5回委員会<12月18日>
 - 1) 第24期SC経営士試験合否判定案について
 - 2) 来年度以降SC経営士試験の問題点と課題について
 - 3) 試験実施の外部委託検討について

- (6) 第6回委員会<3月9日>
 - 1) SC経営士試験マニュアルについて
 - 2) 問題作成の体制について
 - 3) 試験問題のガイドラインについて

<SCマネジメントブック改訂ワーキンググループ(WG)>

- (1) 第1回WG <8月26日>
 - 1) 現行のSCマネジメントブックの課題について
 - 2) SCマネジメントブックの位置づけについて
 - 3) スケジュール、発行時期について

- (2) 第2回WG <9月18日>
 - 1) SCマネジメントブック位置づけの確認について
 - 2) 編集方針について

- (3) 第3回委員会 <10月30日>
 - 1) 位置づけ及び編集方針の確認について
 - 2) 構成(章立て)及び章の担当の確認について
 - 3) 執筆者について
- (4) 第4回委員会 <12月4日>
 - 1) 位置づけ、編集方針、構成、執筆者など最終確認について
 - 2) 執筆依頼について
- (5) 第3回委員会 <2月5日>
 - 1) 法律の取り扱いについて
 - 2) 形態について
 - 3) 執筆依頼状況確認について
 - 4) 編集プロデューサーについて

2. 主な活動報告

(1) 総括

平成 27 年度、SC経営士制度のSC業界・会員企業へのさらなる周知・浸透を図るため、理事企業を中心に 26 社訪問し、SC経営士制度の説明、受験促進やSC経営士の協会活動への参加などを依頼した。

第 24 期SC経営士試験は 229 名が受験し、合格した 75 名が新たにSC経営士として登録される。

SC経営士会は研鑽と交流を目的に、初夏、夏、秋、冬の 4 回の例会と各ブロックにおいて研究会を実施した。

平成 28 年、SC経営士が誕生して 25 周年を迎えるにあたり、記念事業としてSC経営士による記念論文を実施した。

(2) 事業報告

1) SC業界・会員企業への周知・浸透を図る

SC経営士認知度向上の取り組みとして会員企業を訪問し、SC経営士資格の特徴、取得のメリットなどを説明し、受験の促進、SC経営士の協会事業への参画をお願いした。

訪問した企業は以下のとおり(順不同)。

企業名	
三井不動産(株)	JR 西日本 SC 開発(株)
片倉工業(株)	大和リース(株)
三井不動産商業マネジメント(株)	西日本旅客鉄道(株)
(株)パルコ	(株)丸井
天王寺 SC 開発(株)	イオンモール(株)
大阪地下街(株)	(株)三越伊勢丹
札幌駅総合開発(株)	東神開発(株)
(株)札幌都市開発公社	相鉄ビルマネジメント(株)
(株)札幌副都心開発公社	住商アーバン開発(株)
三菱地所・サイモン(株)	(株)サンシャインシティ
東京急行電鉄(株)	三菱地所リテールマネジメント(株)
(株)東急モールズデベロップメント	(株)西武プロパティーズ
阪急阪神ビルマネジメント(株)	(株)新都市ライフ

2) 第24期SC経営士試験

一次試験(9月11日/東京・大阪)は229名が受験し74名が合格(合格率32.3%)。二次試験は「一次試験合格者」(旧称:SC経営士補)を含め81名が受験対象となり、その内6名がSCアカデミー修了生につき二次試験が免除された。2名が辞退し、二次試験を73名が受験した。論文、口頭試問(12月8日(大阪)・12月10・11日(東京))を総合的に検討した結果、69名が合格(合格率94.5%)、免除対象者6名と合わせた75名が最終合格者となった。これで、SC経営士は総計536名となる。

また、1月20日～22日に開催された第40回日本ショッピングセンター全国大会初日に、認定証授与式が行われ、清野会長より認定証が授与された。

3) 平成27年度SC経営士登録更新講習

【大阪会場】

平成27年9月3日(木) 13:00～18:00 会場:大阪ターミナルビル(株)・会議室 参加者 11名

【東京会場】

平成27年10月8日(木) 13:00～18:00 会場:日本SC協会・会議室 参加者 52名

【講師】

第1単元…テーマ:『SCのネクストステージを描く力～事業構想力とは～』

講師:望月 照彦氏 構想博物館 館主

第2単元…テーマ:『世界のモール開発最新事情2015』

講師:富沢 次郎氏 日米経済環境問題研究所 所長

4) 冠講座への協力

人材育成委員会主幹の大学での冠講座(寄附講座)について、平成27年度は北星学園大学において実施した。

大学名	テーマ	単元数	受講者
北星学園大学	ショッピングセンター(SC)の歴史や計画、開発、運営を学ぶ	15単元	約210名

5) SC経営士誕生25周年記念論文の実施

来年SC経営士が誕生して25周年を迎えるにあたり、記念事業としてSC経営士が考える、「あってほしいSCの姿・あるべきSCの姿」について、提言・提案し、日本の商業環境の中で、ますます重要になっていくSCの運営・管理の指針となる、論文を募集し、全「23編」の論文が応募された。

【結果】

最優秀賞

論文名:ソーシャライジングセンター 25年後の日本にあるべきSCの姿

執筆者:※3名共同執筆

佐々木健雄氏(19期) 大和ハウス工業(株) SC事業部統括部長

白川 富章氏(18期) SC-1 代表

ハーレイ・岡本氏(23期) (株)イマジネーションプロみなみかぜ 代表取締役社長

優秀賞

論文名:国土のグランドデザイン 2050より提言する日本のSCの将来像

執筆者:笠原 浩氏(20期) 大和情報サービス(株) 投資不動産開発部課長

奨励賞

論文名:「縁側」としてのSC～Post2020の日本社会を補完するプラットフォームへ～

執筆者:磯田 幸実氏(23期) 東日本旅客鉄道(株)

総合企画本部 品川・大規模開発部 品川事業計画グループ課員

6) その他

「SC経営士委員会とSC経営士会の役割」について整理を行った。

平成27年度第3回理事会(10月27日)において提案し、承認された。

9. 全国大会実行委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回全国大会実行委員会 <6月15日>

1) 報告事項

- ①小委員会の開催報告
- ②「ICSC RECon / ラスベガス」の視察研究について

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア 2016 出展募集
- ②シンポジウム・セミナー(プログラム、有料セミナーの参加形態および参加料、講演料)
- ③併催イベント
- ④SC業界研究イベントの開催

(2) 第2回全国大会実行委員会 <9月16日>

1) 報告事項

- ①SCビジネスフェア、シンポジウム・セミナー、SC業界研究イベントの進捗状況について

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア(インキュベートブース出展、会場内の店舗、今後の出展募集活動、会場内のゾーニング、併催イベント)
- ②シンポジウム・セミナー(プログラム、懇親パーティー、広告募集)
- ③第41回日本SC全国大会の日程

(3) 第3回全国大会実行委員会 <11月10日>

1) 報告事項

- ①第2回全国大会実行委員会報告について
- ②SCビジネスフェア(出展者募集結果、出展ブース・レイアウト)
- ③シンポジウム・セミナー(プログラム、参加者募集パンフレットおよび広告募集状況)

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア(開催までの準備スケジュールについて、併催イベント企画について、来場者募集活動について)
- ②シンポジウム・セミナー(当日の運営、参加者募集)
- ③SC業界研究イベント(企業募集活動、学生募集活動、会場レイアウト、開催当日のコンテンツ)

(4) 第4回全国大会実行委員会 <2月19日>

1) 報告事項

- ①SCビジネスフェア 2016 の開催結果について(SCビジネスフェア、SC業界研究イベント、SCビジネスフェア収支予測、シンポジウム・セミナー(有料・無料セミナー)、シンポジウム・セミナー収支予測)

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア 2017 事業計画骨子(案)(SCビジネスフェア、シンポジウム・セミナー、SC業界研究イベント)
- ②収支予算(案)について(SCビジネスフェア収支予算案、シンポジウム・セミナー収支予算案)

(5) 第1回リーシング小委員会 <4月2日>

1) 審議事項

- ①出展募集活動の進め方について(目標:テナント145小間)
- ②ICSC RECon/ラスベガス視察団のスケジュールについて

(6) 第2回リーシング小委員会 <7月24日>

1) 審議事項

- ①出展募集活動状況について
- ②今後のテナントゾーン出展募集活動について

(7) 第3回リーシング小委員会 <9月9日>

1) 審議事項

- ①出展募集状況について
- ②最終締切までの、テナントゾーンの出展募集活動について

(8) シンポジウム・セミナー プログラム検討会議 <4月22日>

1) 審議事項

- ①有料セミナーのコンセプトワークについて
- ②セミナー企画について

(9) 第1回シンポジウム・セミナー小委員会 <6月12日>

1) 審議事項

- ①プログラム(有料・無料セミナー)について
- ②有料セミナーの参加形態・参加料、及び講演料について
- ③広告募集について
- ④役割分担について

(10) 第2回シンポジウム・セミナー小委員会 <9月16日>

1) 審議事項

- ①プログラムについて
- ②懇親パーティーについて
- ③広告募集について

(11) 第3回シンポジウム・セミナー小委員会 <11月10日>

1) 審議事項

- ①当日の運営
- ②参加者募集

(12) 第4回シンポジウム・セミナー小委員会 <2月19日>

- 1) 報告事項
 - ①シンポジウム・セミナー総括
 - ②シンポジウム・セミナー収支予測
- 2) 審議事項
 - ①シンポジウム・セミナー(有料・無料セミナー)事業計画骨子(案)
 - ②有料セミナー及び懇親パーティー プログラム骨子(案)
 - ③シンポジウム・セミナー収支予算(案)

(13) 第1回SC業界合同企業説明会小委員会 <6月2日>

- 1) 審議事項
 - ①第2回SC業界研究イベントの開催について

(14) 第2回SC業界合同企業説明会小委員会 <10月29日>

- 1) 審議事項
 - ①企業募集について
 - ②学生募集について
 - ③会場レイアウトについて
 - ④開催当日のコンテンツについて

(15) 第3回SC業界合同企業説明会小委員会 <2月10日>

- 1) 報告事項
 - ①SC業界研究イベント総括
- 2) 審議事項
 - ②SC業界研究イベントの課題及び活動の骨子(案)

2. 主な活動報告

(1) 総括

「SCビジネスフェア 2016」の来場者数は、展示ホールで開催したSCビジネスフェア(商談展示会)及び無料セミナーで延べ61,000人(前回51,500人)となり、そのうち併設の学生向けSC業界研究イベント(1月22日開催)の学生参加者は476名(前回525名)だった。展示ホールでは出展者、来場者による活発な情報交流・商談が行われた。

出展者や全国大会実行委員らがゾーンごとに投票する「優秀ブース賞」の金賞には、UR都市機構グループ(ディベロッパーゾーン)、小林園(テナントゾーン)、コンバートコミュニケーションズ(サポート企業ゾーン)がそれぞれ選ばれた。

隣接するアネックスホールでは有料セミナーや懇親パーティーが開催され、延べ2,000名(前回同様)が参加した。

以上、第40回日本SC全国大会「SCビジネスフェア 2016」は成功裡に終了した。

(2) 事業報告

1) SCビジネスフェア

① 展示規模及び来場者数について

- ・会場は前回に引き続き13,300 m²の展示ホールABCを使用した。
- ・展示規模は委員の皆様にお力添えいただき、249社・536小間(前回248社・526小間)と、最大規模となった。
- ・来場者数は延べ61,000人(前回51,500名)と、過去最高を更新した(SC業界研究イベント32社・32小間、学生数476人を含む)。

② 会場内の回遊性について

- ・前回から展示ホールA・B・Cの出入口(4箇所)をすべて開放。
- ・今回は、Cホール出入口から奥に向けて大小間を配置した結果、Cホール入口からの入場が増えるとともに、人の滞留も増えた。これにより会場全体の回遊性が向上したと考えられる。

③ 海外DVエリアの設置について

- ・初めてDVゾーンに海外DVの特設エリアを設置し、台湾、中国、マレーシアのDVが出展。出展各社は日本のリテイラーとの交流に、概ね高評価であった。

④ 運営面・その他について

a. 復興応援コーナー

- ・前回の反省を受けて、まずコーナーへの集客に注力した。具体的には例えば、一関の餅つき(初日)や地元酒蔵による試飲(県ブース)、あるいは他出展者のキャラクターと3県のゆるキャラの共同PRにより、コーナーに人を集めた。
- ・最大の目的であるSCにおける産品販路拡大については、横浜のSCから岩手県の産品を景品として使いたいと具体的なお話をいただいた。

b. 出展者交流パーティー

- ・前回と同数の600人が参加した。クローカーコーナー増設により手荷物を預ける人の順番待ちは改善されてきたが、入場のスピードアップをねらって増員したスタッフは、当日参加の申込受付にあまり効果がみられなかった。事務局ではさらなる改善を検討する。

c. ブース賞の表彰

- ・出展者交流パーティーでのブース賞の表彰は、交流時間を確保するために時間の短縮化を図ってきたが、出展者がまだ長いと感じている。いま一度短縮化を検討する。

2) シンポジウム・セミナー

- ① 全国大会初日懇親パーティーを含む有料セミナーはSCビジネスフェアとの合体後、初めて3日間で開催したが、前回の申込者数(821人/2日間開催)を超えることができずに794人、無料セミナー聴講者数2,945人であった。無料セミナーについては、前回(2,905人)の合計聴講者数を上回ることができた。

- ② 有料セミナーについては、講師交渉を早期に始めた結果、10 月には全ての講師が決まり、打合せを始められた。
- ③ 講師派遣業者への委託であるが、こちらの条件に合わなかったため、委託はしなかった。
- ④ 事前の申込受付業務および当日の受付や進行を委託した結果、スムーズな運営ができた。
- ⑤ プログラムについて、特に 2 日目の参加者数が前回よりも 80 人減で、SC業界が抱える課題で、かつ協会の本年度基本方針である「人材確保」をキーワードにプログラムを組んだが、午後の 2 講座とも同じテーマにしたせいか、前回よりも人数減となった。
- ⑥ 懇親パーティーについては、30 回以降で最高の 652 人のお申込みをいただいた。賛助会員に多くのご参加をいただいた結果であった。

3) 学生向け SC業界研究イベント

① 参加企業数について

今回は 35 社・35 小間を目標に、新規開拓を目的に本イベントの概要説明会を実施するなどして、参加企業の募集活動を行なった。こうした活動により、前回実績の 30 社・30 小間からの上積みはあったが、参加企業は 32 社・32 小間であった。

② 学生来場者数について

前回実績の 525 人から今回は 550 人を目標に、SC業界研究イベント専用Webサイトと学生へのダイレクトEメールを連動させた募集活動を主力に行なった。このほか参加企業に学生募集にご協力いただいて効果は見られたものの、事務局の大学への直接アプローチが前回に比べて弱く、結果は 476 人であった。

③ 開催当日のイベントコンテンツごとの結果について ※()は前回実績

a. SC業界説明聴講者 合計 219 人(225 人)

①10 時 10 分の部 92 人(75 人) ② 11 時 30 分の部 73 人(78 人)

③15 時の部 54 人(72 人)

b. SCビジネスフェア見学ツアー 合計 120 人(134 人)

①11 時の部 44 人(39 人) ② 13 時 20 分の部 46 人(49 人)

③15 時の部 30 人(46 人)

④ 次回に向けて

就活スタート前の学生向けイベントとなって 2 回目の開催。学生の参加人数は前回よりも減ったものの、依然として参加者の評価は高い。今後、学生へのSC業界認知度向上に向けて、SC業界研究イベントの強み(=学生へのメリット)をいかにして伝えて、学生の来場につなげるかが課題になる。そして、ここから企業の個別説明会に学生が進み、最終的に内定につながる業界研究イベントになるよう、小委員会で検討していく。

10. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) ロールプレイングコンテスト

1) 第1回委員会 <7月8日>

- ①第21回支部大会開催要領について
- ②SC接客マイスター検定制度について

2) 第2回委員会 <12月16日>

- ①支部大会における課題について
- ②全国大会の運営について

3) 第3回委員会 <2月16日>

- ①平成28年度基本方針(案)・事業計画(案)および予算(案)について

(2) SC接客マイスター検定制度

1) 第1回実技試験判定基準作成会議 <10月30日>

- ①ロールプレイングコンテストの問題点の再確認・共有
- ②審査基準、採点のあり方

2) 第1回試験実行小委員会WG会議 <12月4日>

- ①先行WGの体制
- ②試験問題のガイドライン

3) 試験実行小委員会 実技試験判定会議 <12月7日>

- ①実技試験合否判定

4) 実技試験合否判定/資格付与通知) <12月28日>

5) 第2回実技試験判定基準作成会議 <3月1日>

- ①基準作成における方向性

6) 第2回試験実行小委員会WG会議 <3月1日>

- ①試験問題について

2. 主な活動報告

(1) 総括

1) ロールプレイングコンテスト

2015年9月7日の関東・甲信越大会を皮切りに、全国7支部8地区において開催された支部大会には、507のショッピングセンター(第20回:479)から1,013名の競技者(第20回:927名)が参加。24名の支部代表者が、1月22日(金)開催の全国大会に集結した。

全国大会大賞「接客日本一」には「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」ザ・ノース・フェイスの竹原さんが選ばれた。竹原さんは中部大会でも圧倒的な総合力で代表に選出され、初めて全国大会に出場した。全国8会場の中で中部から大賞受賞者が選出されたのは実に10年ぶりとなった。豊富な商品知識と独特な話術でお客様のニーズを存分に引き出し、提案からお買い上げまで自然と自分の世界に惹き込んでいく人間力が審査員に評価され、大賞、経済産業大臣賞に選出された。

2) SC接客マイスター検定制度

ロールプレイングコンテスト支部大会に出場した1,013名全員を対象にSC接客マイスター実技試験の合否判定を行った。2015年12月に合否結果を通知し、現在は資格取得希望の意思確認を行っている。

また、1級に該当する「過去の全国大会出場者」については、過去に所属していたSCディベロッパーへ随時コンタクトを取り、連絡先等を確認中である。

(2) 事業報告

1) ロールプレイングコンテスト

①支部大会

地区	開催日程	会場
北海道	11月6日(金)	JRタワープラニスホール(札幌エスタ11F)
東北	11月25日(水)～26日(木)	ホテルメトロポリタン仙台
関東・甲信越	9月7日(月)～11日(金)	丸ビルホール(丸ビル7F)
東京	9月29日(火)～10月1日(木)	日本橋三井ホール(コレド室町)
中部	10月7日(水)～8日(木)	メインホール(名古屋市中小企業振興会館)
近畿	10月20日(火)～23日(金)	ホテル京阪京橋
中国・四国	11月4日(水)～5日(木)	広島YMCAホール
九州・沖縄	11月10日(火)～11日(水)	西鉄ホール(ソラリアステージ6F)

②全国大会受賞者一覧

(敬称略)

賞		氏名	SC名	店名	地区
大賞・経済産業大臣賞		竹原 篤史	三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島	ザ・ノース・フェイス	中部
食品・飲食・ サービス部門	優勝	金澤 美波	パセオ	コールド・ストーン・ クリーマリー	北海道
	準優勝	春山 沙織	アトレ新浦安	海賊の台所	関東・甲信越
ファッション・ 物販部門	優勝	赤田 千晶	丸の内二丁目ビル	トゥモローランド	東京
	準優勝	岩本 紗季	なんばシティ	キャサリンロス	近畿
審査員長賞		坂本 博美	イオンモール下田	ドトールコーヒー	東北

③協賛金 144 口 7,200 千円

77 社より延べ 144 口 7,200 千円のご協賛をいただいた。(予算:133 口 6,650 千円)

2) SC接客マイスター検定制度

1 級該当者数: 92 名 (10.3%) ※全国大会出場者 24 名含む)

2 級該当者数: 170 名 (18.9%)

3 級該当者数: 635 名 (70.8%)

計 897 名